

# KPU NEWS



社会を動かす薬学へ。  
京都薬科大学  
KYOTO PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

No. 208 Jan. 2022



## 2022(令和4)年 年頭のごあいさつ

理事長 土屋 勝

新年あけましておめでとうございます。

12月から1月にただ月が変わっただけですが、年の始まりは、やはりあらたまった気持ちになります。京都薬科大学関係者の皆さま方も、新たな気持ちで2022(令和4)年を迎えられたことと存じます。

一昨年(2021)の1月14日神奈川県で、日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて、まもなく2年になりますが、未だに終息のめどは見えていません。

感染症のパンデミックは、流行と終息を繰り返しますが、ワクチン、治療薬がなかった約100年前の1918年、世界中にパンデミックを起こした「スペイン風邪」はおおよそ2年で終息しています。今回の新型コロナウイルスのまん延も早く終息してほしいものです。

さて、昨年を振り返ると、4月以降、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が交互に発出されるなか、本学でも学生、職員の皆さまには多くのご負担をおかけしましたが、対面授業とWebによる同時配信型授業を併用するハイブリッド型授業、人数を制限したことによる実習回数の増加等、職員の皆さまに多大な努力をいただいているお蔭で、本学においては教育・研究を遅滞させないばかりか、その質向上のため新たな学修

への展開の可能性を探ることができた、と思っています。

昨年6月に政府は、新型コロナワクチンの接種について、地域の負担を軽減するとともに、接種の加速化を図っていくため、企業や大学等における職域接種を行うことを表明しました。大学での職域接種(大学拠点接種)は、加えて「授業運営をオンライン授業から対面授業への一刻も早い復帰を目指すとともに、臨地実習等に参加する学生や指導にあたる教員に対しても早期に接種すること」も目的とされています。

これを受け本学は医療系の大学として、ワクチン接種の希望者へ接種機会を提供することとし、学生、職員をはじめ、本学で警備・清掃など委託業務に従事されている民間企業の方々、さらには近隣の教育機関等の職員等の方々への接種など、地域の負担を軽減することを目的として「大学拠点接種」を実施することを表明し、ワクチン接種を行いました。

1回目のワクチン接種は7月8～15日(土日を除く5日間)に、2回目を8月5～12日(土日を除く4日間)に行い、本学の4年次生には他のワクチンの接種とは一定期間の間隔をあける必要があることから1回目を8月

### CONTENTS

#### ■ ご挨拶

- 2022(令和4)年 年頭のごあいさつ 理事長 土屋 勝 ..... 1
- 新年にあたって 学長 後藤 直正 ..... 2
- 新任のご挨拶 ..... 3
- 昇任のご挨拶 ..... 4

#### ■ 特集

- コロナ禍における国際交流活動について ..... 6

#### ■ 報告

- 2022年度学校推薦型選抜結果 ..... 10
- 受賞・掲載 ..... 18
- 京都薬科大学奨学寄附金芳名録 ..... 20

#### ■ コラム

- 私の薦める、私の一冊 ..... 9
- 卒業生からのメッセージ ..... 10
- 十人十色 ..... 11
- 水中でぶつぶつ ..... 12
- 学生相談室だより ..... 15

#### ■ イベント

- 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021京都」 ..... 8
- 2021年度 防災(避難)訓練 ..... 13
- 2021年10月「オープンキャンパス」 ..... 14

#### ■ お知らせ

- 京薬会だより ..... 4
- 次期学長の決定について ..... 5
- 人事 ..... 5
- 新型コロナワクチンの職域接種を行いました ..... 5
- Library News ..... 8
- 2021年度後期試験等日程 ..... 13
- 第107回薬剤師国家試験の概要 ..... 14
- 生涯教育センターからのお知らせ ..... 16

に、2回目を9月10日に実施し、133名の本学職員の皆さまの協力を得て、10日間で1991人の関係者に接種を完了することができました。本学のような小規模の単科大学で、「大学拠点接種」という緊急かつ重大な一大イベントにおいて、職員の皆さまが持てる力を発揮して成し遂げたことを誇りに思っています。

次に大学運営に関しては、常日頃から職員の総力を結集して取り組んでいるのが中期計画です。2020（令和2）年4月から施行されている改正私立学校法では、文部科学大臣が所管する学校法人は、事業に関する中期的な計画を作成しなければならない、と規定されましたが、本学では14年前の2007年度から5ヵ年ごとに中期計画を策定し実行しています。

2017年度からの第3期中期計画では、Science（科学）、Art（技術）、Humanity（人間性）のバランスのとれたファーマシスト・サイエンティスト育成のための教育・研究体制を確立させるとともに、薬学領域を超えて活躍できる人材の輩出を目指し、6年制薬学教育の更なる発展に取り組んでいます。

現在まで、教員評価制度の制定、学生の自立を高める支援プログラムである学生チャレンジ事業、薬剤師リカレント教育の一つであるレーマン・プログラムの開講などの取組みが進捗しており、この第3期中期計画では97のアクション・プランが計画されていますが、現在80項目がほぼ終了し、コロナ禍にも関わらず順調に進んでいます。

第3期中期計画は本年3月末で終了することから、第4期中期計画の策定に向け学内に学外理事を含めた

13名からなるワーキング・グループを設置し、職員からの意見募集、学生満足度調査、職員満足度・意識調査の結果などを考慮して、鋭意検討を重ね、骨子や文章案の作成、学内のパブリックコメントを経て、昨年10月の評議員会、理事会の承認を受けてようやく策定に至りました。

概要は、第3期中期計画までの成果を基盤としつつ、教職協働による推進を前提として、「先端的研究の展開と教育への反映」、「医療界で活躍できる人材の育成」、そして「大学運営基盤の強化」の3つを柱として、数値目標を示した32項目のアクション・プランを推進することとしています。

折しも昨年6月30日に厚生労働省から発表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」提言や同年8月27日に文部科学省で開催された第1回「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」の審議の帰趨も注視しつつ、本学としては、第4期中期計画に取り組んでいくこととなりますが、確固たる信念を持ち、本学の価値をさらに高めていくよう役職員総力を挙げて取り組んでまいります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症はワクチン接種が行き渡り、経口の治療薬が開発され、通常のインフルエンザと同様の対応ができるまで、本年も昨年に引き続いて対策に追われる一年になるかと思えます。皆さま方には、このウイルスからご自身とご家族を守り、また周囲の大切な方々を守りながら、健やかな日々を過ごしていただくようお願い申し上げます、新年のごあいさつとします。



## 新年にあたって - COVID-19禍中から -

学長 後藤 直正

新しい年が明けました。本年は本学の第3期中期計画（中計）が終了し、第4期中計が始まることに加えて、新学長が就任される節目の年であります。新学長のもとで第4期中計の遂行が更なる発展をもたらすことを期待致します。

COVID-19禍で2年、社会は大きく変わりました。これが次世代にどう働くのか気になるところでありますが、本年の重要事項として薬学教育の根幹である「薬学教育モデル・コアカリキュラム（コアカリ）」の改訂検討についてお願いしたいと思います。改訂については昨年10月の教務部FDの機会に、調査検討会の委員として得た情報を伝え、特色あるカリキュラムの検討を開始してほしいと述べました。コアカリは6年制薬学の教育・研究の根幹に位置するもので、本学の第4期中計の遂行にも多大な影響を与えるものであることから、改めて改訂の主旨等の情報をお伝えしたいと思います。

新しいコアカリは2024年の入学生から適用されること、そのために調査検討の内容を踏まえて本年中

に新しいコアカリが策定される予定です。策定の方針からお考え頂きたいことが2点あります。一つ目は「大きく変貌する社会で活躍できる薬剤師を想定した教育内容」です。現在のコアカリのように、6年制薬学の卒業生が多彩な進路に進むことを想定したものではなく、医療連携に貢献できる人材の育成が主眼であります。では本学のように多彩な進路に進む学生を育成するにはどうするのか、新しいコアカリでは本学の教育目標とは合致しないという疑問・戸惑いが湧いてくることでしょう。これを解くために二つ目があります。「各大学の責任あるカリキュラム運用のための自由度の向上」です。初代のコアカリ、そして改訂版の2代目、つまり現行のコアカリは膨大なものであるという意見が大勢を占めています。その通りだと思います。各大学で設定されたカリキュラムポリシーやディプロマポリシーに基づいてカリキュラムは編成されねばなりません。そこで、基本として新しいコアカリは、6年制薬学教育の原点に沿って“医療現場で活躍できる薬剤師育成の

ためのコアなカリキュラム”となるべきです。こうなれば本学のように医療現場も含めた多彩な進路に進む人材の育成を方針とするならば、大学の教育方針に沿って必要なところを膨らませたり、加えたりすればいいことです。他学の各科目担当教員間でコアカリについて話される機会をもたれるようなときには、かつてのように何もかも詰め込んだものでは各大学の教育方針に沿った教育は成り立たないということをお伝え頂きたく思います。

本学のカリキュラムの策定に関してのお願いです。学生は現在の薬剤師になるわけではありません。10年先、20年先に活躍する人材なのです。社会は急速に変貌しています。薬学だけでは活躍することはできません。なにが必要なのか十分にお考え頂きたく思います。残念ながら薬学の領域の方々から人文科学や社会科学との融合というようなことを聞いたことがありません。薬学というのは患者を含めた人々の保健や医療に携わる職業です。薬学は独立

して存在するものではなく、人文科学、社会科学の進歩と歩調を合わせるべきでしょう。また近年、地球温暖化に拍車がかかっています。私たちは日本列島の多くが温帯にあると考えてきましたが、亜熱帯化が進んでいます。環境が変われば疾患も変わります。如何でしょうか。本学の教育方針に沿ったカリキュラムを構築するには策定されるコアカリだけでは成り立ちません。これらを検討するには期間は十分ではありません。

しかし、全職員の結束があればこの短い期間にやり遂げることは可能でしょう。その素地は本学には備わっています。昨年新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を職員の結束のもとにやり遂げた実績があります。それを力に本学の教育にオリジナルな根幹を建てて頂くことを年頭にあたりお願い申し上げます。

## 新任のご挨拶



分析薬科学系  
薬品物理化学分野

ながお こうじろう  
准教授 長尾 耕治郎

2021年10月1日付けで薬品物理化学分野の准教授に着任致しました。私は2005年に島根大学生物資源科学部を卒業後、京都大学大学院農学研究科に進学し、2010年に博士（農学）の学位を取得しました。その後、京都大学物質—細胞統合システム拠点研究員、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

助教、京都大学大学院工学研究科助教を務めてまいりました。

私は学生時代から一貫して生体膜を対象として研究を行っており、特に膜脂質の輸送と代謝機構、並びにそれらに関わる細胞・生理機能について研究を行って来ました。本学においても疾患の理解を目指し、生体膜に関わる研究を推進したいと考えています。

これまでの農学・工学分野での研究・教育経験も活かし、講義や実習、研究室活動を通じて、優れた薬剤師や薬学研究者の輩出に貢献していく所存です。皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 昇任のご挨拶



医療薬科学系  
臨床薬剤疫学分野

いのせ りょう  
助教 冨瀬 諒

この度、2021年10月1日付で、臨床薬剤疫学分野の助教を拝命いたしました。私は、2014年に近畿大学薬学部を卒業後、大阪市立大学医学部附属病院に入職し、薬剤師として5年間、実務、教育、研究を行ってきました。その後、2019年10月に本学臨床薬剤疫学分野助手となり、2021年3月には村木優一教授のご指導の下、博士（薬学）号を取得しました。

これまで、教育面では実務事前実習などを担当させていただきました。また、研究面では、医薬品の販売量データ、大規模保険請求情報、有害事象自発報告データといった様々な医療リアルワールドデータを用いて、医薬品の効果や副作用、医薬品の使用実態などを明らかにする研究を行ってきました。

今後は、上記の教育、研究活動をさらに発展させ、ファーマシスト・サイエンティストの育成に尽力するとともに、臨床薬剤疫学という学問の発展に貢献できるよう努めてまいります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



分析薬科学系  
薬品分析学分野

こにし あつこ  
助教 小西 敦子

この度2021年10月1日付で薬品分析学分野の助教を拝命致しました小西敦子と申します。私は、2012年に6年制1期生として本学を卒業後、同年当分野の助手に着任し、北出達也教授（現本学名誉教授）のご指導の下、教育研究に携わって参りました。また、2021年に武上茂彦教授のご指導の下、博士（薬学）の学位を取得しました。

私は、簡便迅速かつ低侵襲な臨床検査の実現を目指して、人工抗体を用いた化学センサーの開発に取り組んでおります。研究活動を通じた教育により、挑戦することと、物事に前向きに取り組むことの大切さを学生に伝えたいと考えております。様々なことを経験し、視野を広げ、何倍も何十倍も成長した自分に出会ってほしいと思います。

社会の広い領域で活躍し、社会を動かす人材を育成する、という本学の教育・研究目標に貢献できるよう、精進いたします。今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

## News 京薬会だより

### クラブ団体活動を行う学生会員への激励

今年度のクラブ等活動支援事業として、コロナ禍において十分な感染対策を講じながら学業とともに制約のある中での地道で着実なクラブ・団体の課外活動を両立している学生の皆さんにエールを送ることを趣旨として、12月3日に大学公認の延べ41のクラブ・サークル・団体の皆さんへ、京薬会 西野会長からメッセージと激励金をお贈りしました。

学生会員の皆さんが、With & Post コロナの中で健康な生活に留意し、今後もクラブ等団体活動に一層活躍されることを期待いたします。



（左から）西野会長、中尾真緒さん



西野会長のメッセージ

## NEWS 次期学長の決定について

後藤直正学長の任期満了（2022年3月31日）に伴い、2021年11月26日の理事会において、現在、副学長である赤路健一氏を次期学長として選出いたしましたので、お知らせいたします。

なお、任期は、2022年4月1日から2026年3月31日までの4年間です。

### 【次期学長 略歴】

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 氏名   | あかじ けんいち<br>赤路 健一（66才）【新任】   |
| 2. 現職   | 京都薬科大学 副学長   |
| 3. 最終学歴 | 京都大学薬学部大学院博士課程中退   |
| 4. 学位   | 薬学博士（1984年）  |
| 5. 専門分野 | 薬品化学   |
| 6. 任期   | 2022年4月1日～2026年3月31日（4年間）  |
| 7. 略歴等  | 1980年11月 京都大学薬学部 助手<br>1986年11月 米国食品医薬品局研究所visiting associate（1988年4月まで）<br>1989年2月 京都薬科大学 助教授（薬品化学教室）<br>1999年1月 大阪大学蛋白質研究所 助教授<br>2004年4月 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授<br>2011年4月 京都薬科大学 教授（薬品化学分野）<br>2020年4月 京都薬科大学 副学長 |

## NEWS 人事

### 採用

分析薬科学系 薬品物理化学分野  
准教授 長尾耕治郎  
(任期：2021. 10. 1～2026. 9. 30)  
事務局施設課 主事 新石 倫大  
(2021. 10. 1付)

### 契約期間満了

臨床薬学教育研究センター  
契約専門職員 山中 則子  
(2021年8月31日満了)

### 昇任

医療薬科学系 臨床薬剤疫学分野  
助教 冢瀬 諒  
分析薬科学系 薬品分析学分野 助教 小西 敦子  
(任期：2021. 10. 1～2026. 9. 30)

## NEWS 新型コロナワクチンの職域接種を行いました

本学は、新型コロナワクチンの職域接種を9月10日（金）で終了しました。

本学学生・職員、本学構内で警備等の業務に従事する委託会社の社員、京都市の教育関係者などを対象に、1,991人に接種を行い、滞りなく完了しました。

接種にあたっては、本学教員である医師が問診や副反応の対応にあたったほか、薬剤師免許を持つ教員がワクチンの管理、充填業務などを担当しました。



## コロナ禍における国際交流活動について

COVID-19の影響により昨年度は実施することの難しかった国際交流活動ですが、今年度はオンラインを活用して海外協定校との国際交流を進めてきました。本学学生にも積極的に参加していただきましたので感想と共に紹介いたします。今後も、海外協定校とのオンライン交流を継続していきたいと考えていますので、学生の皆さんには積極的にご参加いただきたく思います。

国際交流センター長 一般教育分野 教授 佐藤 毅

*Feature article.*

### ■ 国立成功大学とのオンライン交流

8/18、25の2日間（各日2時間）、本学の海外協定校である台湾台南市の国立成功大学（National Cheng Kung University）薬学部の学生13名と本学の学生8名が、Zoomによるオンライン交流を行いました。1日目には、苦手・得意科目や将来のキャリア等について少人数で意見交換し、2日目には各大学の代表が、コロナ禍での学生生活や薬剤師の職務の変化等についてプレゼンテーションを行いました。参加した学生の感想を下記のとおり共有させていただきます。

2年次生 たかだ みすず  
高田 美鈴

台湾では、学生同士の普段のコミュニケーションで英単語が飛び交う時があると聞きました。そのためか、英語での返答等が日本人学生より流暢だと感じました。京薬でもこういった交流を盛り上げるために、学生同士で薬学の内容を英語で話す機会があってもいいのではないかと思います。また英語以外にも、台湾の学生が、見る人に興味を与えるようなパワーポイントを作成していた点もいい刺激になりました。交流自体は、台湾の薬学生事情を知れたので充実した時間でした。

4年次生 おくの かほ  
奥野 華帆

台湾の薬学生が学ぶ科目は私たち日本の薬学生と似ていると感じました。しかし、早く単位を取得すれば5年で卒業することができるなど、私たちと異なる部分もありました。台湾の薬剤師や薬学部のことを知ることができてとても良かったです。交流後もSNSを交換し、英語でメッセージのやりとりをしています。私は今まで海外留学などの経験がなく海外の方とSNSで交流したことがなかったので今回、交流後もメッセージのやりとりができることを大変嬉しく思っています。

4年次生 そうま なつき  
相馬 夏月

同年代で同じ薬学の勉強を頑張っている台湾の方達に出会え、沢山刺激をもらうことができました。台湾の薬剤師事情から個々人の思いまで様々なことを聞いたりお話ししたりと新鮮で楽しかったです。今後も薬学を学んでいる海外の方や、他の学問を専門にしている海外の方とも交流したいです。

4年次生 たけだ りかこ  
武田 里佳子

少人数のチームに分かれて話し合うことで英語を話さなければならない状態になり、英語を積極的に使うきっかけになりました。また、2年次まで中国語を選択しており、せっかく台湾の学生と交流ができるので、始めに中国語でスピーチをすることができました。海外との交流が難しい中、このような機会があることで英語・中国語両方の学習のモチベーションが高まりました。交流時にSNSの交換を行ったので、交流会の後でも個人的に連絡を取っており、海外の友達がまた増えてうれしかったです。

4年次生 たかぎ みさ  
簗城 実沙

ニュースやSNSからの情報だけでは知ることのできない同世代の台湾人の考え方や暮らしを知ることができました。

いしだ ななこ  
4年次生 石田 菜々子

たった2回の交流で、こんなにたくさんの台湾の学生と知り合え、仲良くなれたことに驚くと共にとても嬉しく思います。台湾の方が話す英語を一言一句聴き取れたわけではないですが、相手の言いたいことや、その背景を想像、共感できるようになったのは、外に出て、多様な考え方に触れることを意識してやってきた成果だと思い、自分の経験が無駄ではなかったと嬉しくなりました。

ひがし さちか  
3年次生 東 幸花

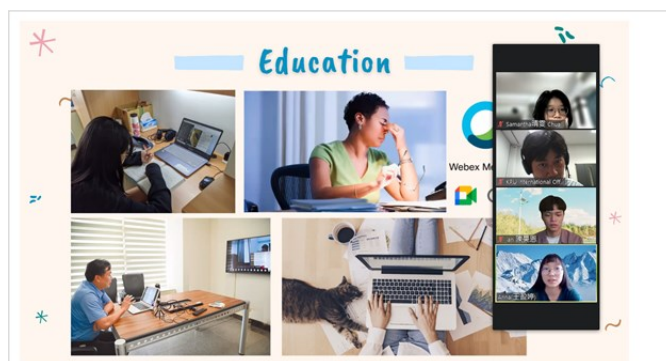
まず台湾の薬学生は英語が第一言語でないにも関わらず流暢に英語を話していて驚きました。英語のみで海外の方と話すことは今まであまりなかったので緊張しましたが、薬学や台湾について知ることができてとても楽しく、貴重な経験となりました。次はよりスムーズに英語で会話したいと強く思ったので、英語学習をさらに頑張っていきたいです。

おのうえ もえか  
1年次生 尾上 萌花

少人数ごとのグループに分かれての意見交換が多かったので、発言しやすかったです。テーマに沿った話や薬学に関する話だけでなく、色々なコミュニケーションが取れてすごく楽しい時間でした。



国立成功大学薬学部生の卒業後の進路に関する説明



国立成功大学薬学部生がコロナ禍での授業で感じたことの説明

## ■ サマープログラム

本学のサマープログラム（ドイツ・米国）ですが、2021年度はドイツ・フライブルク大学サマープログラムのみ、2021年8月2日～24の日程（日本時間：平日16：30～20：00）でオンライン開講しました。本学の3年次生1名が受講されましたので、その感想を下記のとおり紹介いたします。

さかい りか  
3年次生 坂井 莉佳

私は、ドイツ語の語学力向上ができる貴重な機会だと思い、フライブルク大学オンラインサマープログラムに参加しました。高校生の時にはイギリスへの短期留学をしたり、英語での討論会に参加したり、大学入学前から英語学習に意欲的に取り組んでいましたが、英語に加えて1年次の時に選択したドイツ語も上達させたいと思い、実践的に学べる本プログラムへの参加を決めました。

私が入ったクラスは13人の少人数クラスで、日本人だけでなく韓国人、トルコ人から編成され、国内外の学生が集まりました。授業は、基本的な文法の知識確認や発音・アクセントといったスピーキングの練習、テーマに沿った文章の作成・添削といったように、幅広く充実した内容でした。授業中は、グループワークやペアワーク、クラス内で発言する機会が多くありました。

最初はドイツ語に耳が慣れていないことや他の言語に頼ることができない環境であったため、大変だと思いつつも毎日、宿題に加えて予習復習を欠かさず行い、授業が少しでも有意義な時間になるよう取り組みました。受講を重ねるごとに聞き取れる言葉が増え、自分の意見を伝えることができたことは自分の成長につながったと思います。

積極的にドイツ語学習に励むクラスメイトのおかげでドイツ語学習の意欲がさらに高まり、同世代とコロナ禍でも交流して刺激を受けることができたことは大きな経験となりました。今回の貴重な経験をいかし、医薬品業界で活躍できる人材になれるように、今後も継続して挑戦していきたいです。

Online intensive language course August 2021

Course schedule

S/L	Week 1				
	Monday 2.8	Tuesday 3.6	Wednesday 4.5	Thursday 5.3	Friday 6.8
8:30 - 9:0 h	Language class	Language class	Language class	Language class	Language class
10:30 - 12 h	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Social project work
13 - 14 h			Welcome evening		International picnic
S/L	Week 2				
	Monday 9.8	Tuesday 10.6	Wednesday 11.5	Thursday 12.3	Friday 13.8
8:30 - 9:0 h	Language class	Language class	Language class	Language class	Language class
10:30 - 12 h	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Social project work
13 - 14 h			Virtual Freiburg trip		Freiburg Quiz
S/L	Week 3				
	Monday 16.8	Tuesday 17.6	Wednesday 18.5	Thursday 19.3	Friday 20.8
8:30 - 9:0 h	Language class	Language class	Language class	Language class	Language class
10:30 - 12 h	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Speaking practice	Seminars and exercise courses	Social project work
13 - 14 h			Virtual Black Forest trip		After work Concert
S/L	Week 4				
	Monday 23.8	Tuesday 24.6	Wednesday 25.5	Thursday 26.3	Friday 27.8
8:30 - 9:0 h	Language class	Language class			
10:30 - 12 h	Speaking practice	Seminars and exercise courses			
13 - 14 h					

\* Obligatory classes    \* Optional classes    \* Voluntary participation

シラバス（英語版）

実行委員長 病態生理学分野 清水 大器

がん患者さんやそのご家族を支援するチャリティーイベントであるリレー・フォー・ライフ・ジャパン京都を開催しました。

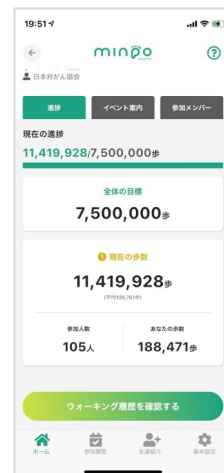
今年度はCOVID-19の感染拡大を受け、本来のウォークイベントは断念し、スマートフォンの歩数計アプリ「minpo」を用いた新たな試み「セルフウォークリレー」を実施しました。これは、参加して下さった方の歩数の合計がアプリ内に蓄積され、期間中の合計歩数に応じて協賛企業の皆様から寄付をいただけるという試みです。結果的に、105名の方にご参加いただき、合計歩数は1ヶ月間で11,523,091歩に達しました。

セルフウォークリレー最終日にはZOOMによるオンラインイベントも実施しました。オンラインであっても集まれたことがうれしいというご感想を数多くいただき、離れていても想いを共有できるというオンラインイベントだからこそその良さを感じることができました。

開催期間：2021年9月26日～10月23日



動画による  
ルミナリエセレモニー



スマホアプリ「minpo」

## Library News

### 図書館

教育後援会より図書の寄贈をいただきました！

学生アンケートにおいて「図書館に置いてほしい！」と要望があったものを中心に合計166冊の図書を教育後援会よりご寄贈いただきました。

第164回芥川賞受賞作『推し、燃ゆ／宇佐見りん』、2021年本屋大賞を受賞した『52ヘルツのクジラたち／町田そのこ』や直近の直木賞受賞作をはじめ、『実力も運のうち 能力主義は正義か？／マイケル・サンデル』『東大教授が教える！できる大人の勉強脳の作り方／池谷裕二』といった知的好奇心をくすぐる図書等、魅力的なラインナップが勢ぞろいです。展示のご案内をした翌日にはすぐに貸出されるなど、毎年楽しみにされている方も多いようです。



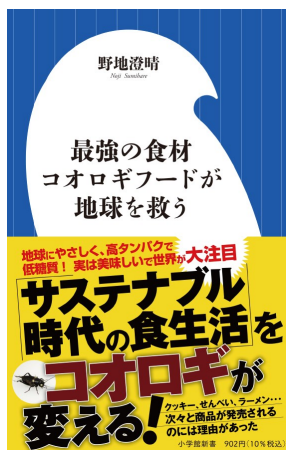
教育後援会寄贈図書コーナー

通学時間の合間やご自宅での空いている時間にちょっとした息抜きとして、気軽に楽しんでみてはいかがでしょうか？寄贈図書の一覧は、“図書館ホームページ＞資料案内＞教育後援会寄贈図書＞2021年度”からご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

もりと かつや  
衛生化学分野 助教 森戸 克弥

『最強の食材 コオロギフードが地球を救う』  
野地澄晴 著  
小学館

世界人口の増加に加えて、国連世界食糧計画（WFP）の推計によると、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行のため、最低限の食糧を入手することさえ困難な状況にある人口が倍増しているようです。我々が健康で生きていくためには、日々の食生活が重要であることは言うまでもありませんが、残念ながら我が国の食料自給率はあまり高いとは言えず、世界人口が増加すればするほど、諸外国から輸入される食糧も減少する可能性



があります。もちろんそのような状況に陥らないために様々な方策が取られているわけですが、この本では、わが国だけでなく世界中の食糧危機を救う手段の一つとして近年注目されている「食用コオロギ」を紹介しています。

「昆虫食」と聞くとゲテモノ食いのイメージが強いかもしれませんが（実際、私はそのようなイメージを抱いてしまいます）が、最近では、「コオロギ・パウダー」を混ぜ込んだ商品が発売されて話題となっていることを、ご存じの方もいると思います。

本書には昆虫食の中でもコオロギ食のメリットや今後の可能性に加え、商品開発秘話などがとても読みやすい文章で綴られています。あくまで可能性の話ですが、将来的に「コオロギ」が栄養機能食品に…なんてことになれば、薬剤師にとっても勉強すべき対象になると思われます。毎日の食卓に昆虫が並ぶ未来が本当に来るかどうかは別として、本書は、日々の食生活や食品ロスなどについて改めて考えるきっかけを与えてくれる、そんな一冊かもしれません。

おおた しゅうと  
情報管理推進室 太田 周人

『ぼくはイエローでホワイトで、  
ちょっとブルー』  
ブレイディみかこ 著  
新潮社

イギリス南部の港町ブライトンに暮らす、アイルランド人の父と日本人の母（著者）を持つ中学生の学校生活を中心に綴られたエッセイ。

彼は名門小学校に通っていましたが、中学校への進学の際、多くの同級生が選ぶ系列の名門校ではなく、評判のいいとは言えない公立校を選択します。この中学校には、人種も貧富も様々な子どもたちが通っており、英国社会が抱える格差、貧困、差別等の問題を色濃く投影した出来事が次々と起こります。

もし自分の子どもたちが彼と同じように、平和で恵まれた環境から180°異なる環境に自ら飛び込むとしたら、親である自分はどうするだろうかと考えながら読みました。



この社会には単純で綺麗なもののばかりではなく、複雑で醜いものもたくさん存在します。それらを目に留めることなく大人になることは快適で幸せかもしれませんが、いつかそれらに遭遇したとき、上手く向き合うことができないかもしれません。中学校での人間関係に悩む彼から「多様性とは本当にいいことなのか」と尋ねられた著者が言います。

「多様性はうんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らせるからいいことなんだと母ちゃんは思う」

新たな環境で奮闘する彼の言動、そして複雑な問題に真摯に向き合う親子の会話は、自分の価値観とは異なるものについて「知る」ということの大切さを教えてくれます。また親の立場としては、子どもの選択を尊重し、共に考え意見を交わす著者の姿勢を見習おうと思われました。

この中学校で彼は他校との格差、差別やいじめ、同級生の貧困問題等、様々な問題に直面しますが、そのたびに悩みながらも自分の考えを持って、家族と話し合い、それらの問題に向き合っていきます。そんな彼の学校生活と家族の会話からは、どの年代でも学べることや気づかされるものがたくさんあるのではないかと思います。

2021年9月には続編もリリースされています。ぜひ併せて読んでみてください。

## 学生時代での経験は 今の自分にとっての財産

うめやま はるか  
梅山 遥



2016年 学部卒業  
(細胞生物学分野)

神戸大学医学部附属病院  
薬剤部 薬剤師

私は、高校生の時にテレビの報道で薬は患者さんの治療薬となる一方で副作用に苦しむこともたくさんあるのだと知ったことがきっかけで薬の「効果」と「副作用」の二面性に興味を持ち薬学部へ進学しました。そして大学を卒業してから現在まで病院薬剤師として仕事をしています。そんな私の経験についてお話します。

私の学生時代は、日々勉強に励みながら友人と遊んだりサークル活動でスポーツをしたりと毎日楽しく過ごしていました。3年次に研究室に配属されてからは研究に明け暮れる毎日となりました。私が配属された細胞生物学分野は、当時新設の研究室で私の代が一期生でした。自分で研究テーマを一から考え、仲間と共に研究室を築き上げていくという経験は大変思い出深いものがあります。先生方だけでなく仲間達と個々の研究内容について相談・考察し、時には共に悩むことで信頼関係を構築しそれぞれの目標に向かって最後まで突き進むことができました。その結果、学会にて成果発表をすることができ

ました。目標に向かってやり遂げる、信頼関係を構築するという力はこの経験があったからこそ今の仕事にも繋げられていると日々実感しています。

さて、就職を考えた際に、職種の選択肢がたくさんある中で私がなぜ病院薬剤師を選択したかというと5年次の実務実習を通してチーム医療の中で他職種の方々だけでなく患者さんからも信頼され“薬の専門家”として活躍されている薬剤師の姿を見たからです。私は、幅広い知識の習得や最新の治療をいち早くキャッチできる現場、さらにそれぞれの分野の認定・専門薬剤師の先生方と共に仕事をする事で自分自身を高めようと思い大学病院を選びました。入職後はがん治療に関わることが多く、次第にがんの認定・専門薬剤師を目指そうと目標を持つようになり、そこで学生時代に培った目標に向かってやり遂げるという力を活かして4年目に外来がん治療認定薬剤師を取得しました。また、患者さんはもちろん、医師・看護師等多職種間での信頼関係の構築を大切にしながらチーム医療の一員としてより良い医療を提供できるように日々努めています。

京薬で出会った多くの先輩や後輩、仲間達は様々な分野・職種で活躍されている方も多く、卒業後仕事上で関わることが多々あり、お互いに切磋琢磨し合う事ができます。そういった繋がりが京薬での学生生活における一番の財産になっていると実感しています。

最後になりましたが、学生の皆さんには、今の自分の周りにいる仲間達を大切にするとともに日々の経験から学び、自身の力にすることを意識しながら学生生活を楽しく過ごして欲しいです。

## 2022年度学校推薦型選抜結果

Report

入試課

2022年度学校推薦型選抜の内、指定校制は2021年11月15日(月)に、一般公募制は11月20日(土)に実施され、12月1日(水)に合格発表が行われました。結果は右表のとおりです。

	募集人員	志願者数	合格者数
指定校制	50名	46名	46名
一般公募制	80名	237名	100名

KPU<sup>NEWS</sup>では、学生・職員の趣味や活動などを新コーナー「十人十色」と題して幅広く紹介しています。学生・職員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

## 植物園で働く私の“職業病”

施設課（薬用植物園勤務） 深田 祐輔

### しょくぎょう - びょう【職業病】

1 職業の労働条件・環境などによって起こる障害。  
（中略）

2 俗に、ふだんから出てしまう職業上のくせや習慣。（引用元：小学館 デジタル大辞泉）

京都薬科大学の薬用植物園は伏見区にあり、御陵園の約5倍の広さに約1000種の植物を栽培・展示しています。私は植物園で日々あくせくと働いているわけ（写真1）ですが、仕事の内容や植物の事を書いても面白くなりそうになかったので、植物園で働いているうちに私が患った職業病（前述2の意味で）について書いてみようと思います。



写真1. 切り倒したユッカを運ぶ私  
ユッカは葉が鋭く尖り、ズボンを容易く貫通する。刺さるととても痛い。

植物園で働いていると、学生さんから突然植物の名前を聞かれる事もあれば、先生の代打として翌日開催される野外植物観察会の講師を依頼される事もあります。伝統ある京都薬科大学の看板に泥を塗らないためには、様々なことに対応できるように色々な植物について詳しくならなければいけません。

そういうわけで日々勉強していると、それがいつしか習慣になり、気が付けば周りの人から呆れられます。

### ①旅行中、移動に時間かかりがち

日本は植生が豊かな国なので、場所によって生えている植物が全然違います。勉強中の私は自然が多い場所へ旅行した際、見慣れない植物を見つけると気が付けば写真を撮影し、電波があればネット検索を駆使し

て植物の同定を始め、結果5分経っても1mも進まず、同行者に愛想を尽かされ、最終的には置いて行かれます。

### ②映画等で登場する植物気になりがち

例えば、もののけ姫でアシタカの生死をシシ神様に委ねる際に、サンが何かの幼木をアシタカの枕元に突き刺すシーン（画像1）があります。こんな風に象徴的に使われると、どうしても何の木なのかが気になります。

ちなみにこの幼木はサカキだそうです。神様の世界とヒトの世界の境を表す木として、神棚に飾るなど神事によく使われる植物なので納得です。サカキは関東以南の比較的温かい所を好むため、東北などの寒い地域ではヒサカキという似た植物を使います。蝦夷（エミシ）の村出身だというアシタカはおそらく東北出身であるため、かなり南に移動した事が植物からも分かります。

一緒に映画を見ていた人に「そういえばあの木って…」と切り出そうものなら大概「はあ？」という顔をされるので、特にデートの時には気を付ける必要があります。



画像1. シシ神様とサカキの木  
原画にサカキの幼木と書いてあるらしい。  
画像引用元：<https://www.ghibli.jp/works/mononoke/>

植物はモチーフとして使われる事が多く、詳しくなると色々な事に少し違った楽しみが生まれます。一方で、油断すると友達が減ったり恋人に愛想を尽かされたりする可能性もあるので、細心の注意が必要です。



椿堂、化粧品屋さんではない。比叡山延暦寺の西塔関所の手前から下った一隅に建ち、堂守もない簡素なお堂である。比叡山延暦寺には浄土院や阿弥陀堂など、仏教に由来する名のお堂が数多あるなかでは異なる名である。「聖徳太子---この山に登り給う時堂を建て椿の杖を堂の傍に立て給ふ この杖 枝葉繁茂す故に椿堂といふ」(堂前駒札)とある。林立するヒノキが日差しを遮る、昼なお暗いところに建つが、銅拭き屋根の緑青が陽光を集め、お堂が明るく抜け出ている。椿という名に惹かれた。



椿堂@比叡山延暦寺・西塔 (210923)

ヤブツバキ（ツバキ）はよく目にする常緑の小高木である。私の住居近くの坂本の里や比叡山山中では二月から四月にかけて咲き誇り、黄色い蕊(しべ)の束を含んだ、ルージュの唇で話しかけてくる。所縁のない地に住み続けるのはこの季節(とき)があるからでもある。

冬に入るとツバキの季節が待ち遠しくなる。昨年十一月に椿堂を知り、そのツバキが見たいという思いが募るようになった。明けて一月、坂本の里でつぼみの色づきを見た。しかし椿堂では芽のようなものだった。三月に入り、里だけではなく山中でもツバキの花の盛りを迎えたのに、椿堂ではまだ小さな硬いつぼみであった。三月の終わりになっても幾分膨らんだだけ。四月、ツバキの季節も終わろうかという気配に気がせくも下旬まで椿堂を訪れる機会がなかった。「さすがにもう終わったなあ」と落胆半分で登ったが、つぼみに色づきさえもなし。ここでわが身を疑い始めた。ツバキを愛でるとはいえ、しょせん素人。似たような葉や幹など、モチノキを始め、いくらでもある。椿堂の周りで見た木はツバキではないのではと。

五月連休ともなると初夏の花が咲き始め、ツバキは忘れられる。しかしそうはいかない。想いは残る。無動寺谷、明王堂、東塔と廻り三時間。関所前の石段を下る目を濃緑の茂みから幾つもの紅が射した。間違いはなかった。

ツバキの紅で彩られている椿堂に心がときめきもした。いまを彩るツバキは陽当たりの悪さと漂う冷気でふた月も遅れたのだろう。しかしみなと同じに咲くのが必ずしもいいとは限らない。みなが咲くときならただのひとつ。遅れすぎたことが椿堂をより映えさせている。

いままでツバキは花のときしか見てこなかったということはない。四季を追って、葉の色の変化も、樹肌も見てきた。なのになぜ疑念に揺れたのか。不断の営みを見てきたのなら、いつかは花が咲くと信じなければ。遅れた盛りのときから三週を経て何度目かの椿堂。樹上の花どころか朽ちた落花もすでになく、濃緑の葉は若葉に代わり、つぎへの営みが始まっていた。

“水中でぶつぶつ”は編集担当者ならびに編集委員の皆様を支えられてきました。期限破り常習、修正幾たび。担当の皆様、怒るに怒れず、忍の一字。いまさらの反省やお詫びの御託は並べず、感謝の言のみ。お陰さまで途切れることなくオーラスを迎えることができました。有難うございました。

読んで下さった方は皆無ではなかったような気がします。その方々に幸多かれと申し上げ、幕を引きます。チョンチョンチョン---

2021年度後期の試験日程は下表のとおりです。

スケジュールは変更になる可能性がありますので、必ず最新状況をmanabaでご確認ください。

【後期試験等日程表】

年次	試験	期間	合格発表	受験手続日
6	アドバンスト薬学 本試験	1月7日(金)・1月11日(火)	1月17日(月)～ Webによる公開	—
	アドバンスト薬学 再試験	1月27日(木)・1月28日(金)	卒業査定会 [2/15(火)] 後 予定※	1月17日(月)～1月19日(水)
4	後期試験	1月13日(木)～1月17日(月)	1月27日(木)～ Webによる公開	—
	後期再試験	2月4日(金)～2月8日(火)	2月17日(木)～ Webによる公開	1月27日(木)～1月30日(日)
	前期・後期再試験Ⅱ	2月22日(火)～3月2日(水)	進級査定会 [3/17(木)] 後 予定※	【前Ⅱ】1月27日(木)～1月30日(日) 【後Ⅱ】2月17日(木)～2月18日(金)
	OSCE本試験	2021年12月12日(日)	1月24日(月)14:00～ 1月26日(水)15:00	—
	OSCE追・再試験	3月7日(月)	進級査定会 [3/17(木)] 後 予定※	1月24日(月)14:00～ 1月26日(水)15:00
	CBT本試験	1月18日(火)～1月21日(金)	1月31日(月)14:00～ 2月2日(水)15:00	—
	CBT追・再試験	3月3日(木)	進級査定会 [3/17(木)] 後 予定※	1月31日(月)14:00～ 2月2日(水)15:00
1～3	後期試験	1月17日(月)～1月25日(火)	2月7日(月)～ Webによる公開	—
	後期再試験	2月22日(火)～3月2日(水)	進級査定会 [3/17(木)] 後 予定※	2月7日(月)～2月9日(水)

※詳細は決まり次第manabaでお知らせいたします。

2021年度 防災（避難）訓練を実施しました



施設課

2021年度の本校地防災訓練を10月14日に実施しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により全学の避難訓練が行えませんでした。今年度も規模を縮小し、本学での避難訓練が初めてとなる1・2年次生を対象に実施しました。避難場所では、密にならないよう感染リスクを抑えた形での実施となりました。



本校地防災訓練の様子：中央庭園

また、11月18日には南校地で避難訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため避難場所での人数は制限しましたが各所属内で事前に避難経路等を確認し訓練に臨みました。赤路副学長からの講評では、南校

地では出口が1つしかないことやRIセンター等の特殊施設があることから今後各所属内で防災意識を高めていくよう訓辞がありました。次いで山科消防署から消火栓の場所や使い方・確認など突然の災害時の対応のアドバイスがありました。重要なことは事前準備をし安全に避難することです。

この記事を見られた皆さんは日常生活の中で研究室や講義室・実習室、実習先の施設等において、安全な避難経路や消火栓の確認等を行い、自身や周囲の方の身を守るようにしていただきたいと思います。



南校地防災訓練の様子：  
バイオサイエンス研究センター前

## 入試課

10月24日(日)にオープンキャンパスを実施しました。対面型での開催は今年度初となります。また、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点及び遠方の方でもご覧いただきたい、ということから京都薬科大学では初のオープンキャンパスの同時配信を行いました。対面型は200組400名の事前予約制(抽選方式)とし、オンライン型は希望者全員が参加できる形としました。



学長の挨拶(左:対面型 右:オンライン型)

対面型及びオンライン型を合わせ、264組の参加がありました。T31講義室を会場とし、「学長メッセージ」、「大学紹介(入試広報委員長)」、「在学生の話」、「卒業生の話」、「キャンパス見学」、「臨床現場で活躍する薬剤師」、学生企画として「受験前最後に聞きたい京薬紹介」を実施しました。

「在学生の話」は、6年次生の清水拓登さん、「卒業生の話」は株式会社ゆうホールディングスにお勤めの今堀翔太さんに講演を行っていただきました。

キャンパス見学ツアーではオンライン型で参加している方にも本学の雰囲気を感じていただけるよう、事前に撮影したキャンパス見学ツアー動画をご覧いただきました。

在学生と教職員による「個別相談会」では教職員・

在学生と気軽に話ができるよう、そしてオンラインの方でもリアルタイムで参加できるようバーチャル空間「oVice」を導入しました。相談会の参加組数は対面型・オンライン型合わせ86組と大盛況でした。



対面型：個別相談会の様子

参加者アンケートからは、「現役生・卒業生の話が聞けて、薬剤師の仕事の広がりを知ることができました。」「キャンパスツアーで入学後のイメージを膨らませることができ、受験のモチベーションアップにつながりました。」「合格して京都薬科大学で学びたいと改めて思いました。」「オンライン型でしたが、オープンキャンパスに行ったような感覚になりました。とても分かりやすかったです。」などの声がありました。

予約が参加枠より多くなり、抽選となってしまったため、今回ご希望に沿えない方も少なからずいらっしゃいました。

今後も参加者の方々に本学の魅力を発信するため、より一層充実したオープンキャンパスにしたいと思います。

## NEWS 第107回薬剤師国家試験の概要

## 学生課

第107回薬剤師国家試験は、次のとおり実施されます。

<b>試験日</b>	2022年2月19日(土)及び同月20日(日)
<b>試験地</b>	北海道、宮城県、東京都、石川県、愛知県、大阪府、広島県、徳島県及び福岡県
<b>試験科目</b>	[必須問題試験] 物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務 [一般問題試験] ・薬学理論問題試験 物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理 ・薬学実践問題試験 物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務
<b>合格発表</b>	2022年3月24日(木)午後2時に厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページにその受験地及び受験番号を掲載して発表されるほか、合格者に対して合格証書が郵送されます。

\*詳細は、厚生労働省ホームページ「第107回薬剤師国家試験の施行」をご参照ください。

## ■ 早めの対処で心身の健康の維持を心掛ける ～セルフモニタリングの紹介～

2022年が始まりました。この約2年間は、COVID-19感染拡大予防対策を優先した生活であり、人と人との直接の交流の機会や人が集まるような様々な行事が従来通りというわけにはいかず、コミュニケーションの在り様は大きく変化しました。

そんな中、学生相談室では、学生支援に活かすため、2020年度に引き続き、前期試験終了直後に「学生の心身の健康や生活状況等に関するアンケート」を実施致しました。匿名かつ公表を前提としない条件でのアンケートであるため、多くをお伝えすることができないのですが、2020年度と2021年度でどのような変化が見られたのかあるいは見られなかったのかについて差支えない範囲でお話させていただきます。

今年度、気分の落ち込みや不安といった心的ストレスを自覚していたのは回答者のうち約半数でした。これは昨年度とほぼ変わりありません。一方で、心身の健康を維持する上で非常に大切となる生活習慣である「睡眠」「食事」「生活リズム」については、2020年度より状態が比較的改善していました。また、「相談できず困っている」「誰とも話せず寂しさや辛さがある」といった質問への回答に関しても、2020年度と比較すると改善傾向がみられました。その理由の一つとしては、2020年度後期から、オンライン・オンデマンド授業との組み合わせではありますが、対面授業が開始され、外出機会や対人交流場面が少しずつ増えてきて、生活にメリハリが付きやすくなったということが挙げられるでしょう。

また、今年度は「長期化しているコロナ禍生活の心身への影響について、ご自身が感じられていることがあれば自由にお書きください」という自由記述項目を設けました。生活の変化の中にポジティブなものを見

出したという記述もあれば、変化をネガティブに捉えざるを得ないという記述もあり、実に多様な回答が寄せられました。

人は、ストレス過多の状態になると心身に様々な影響が現れます。そんな時、メンタルヘルス維持のために、まずは自分自身の心身の状態を観察し、可視化してしっかりと把握できていることが役立ちます。それをセルフモニタリングといいます。例えば、身体の状態とこころの状態について、一番良い時を100点満点とし、日々の状態を点数化して可視化するのも一つの方法です。また「睡眠」「食事」「生活リズム」に関する生活習慣の維持も心がけたいところです。不調を感じたら放置せず、早目に対処を考えていくことが大切です。その一方で不調時には、やるべきことをすべてやらなければと思いつぎすぎずに、例えば、「ストレス要因を特定し、なるべく減らす方向にもっていく」、「やるべきことの優先順位を考えて、順位が比較的低いものはやらないか後回しにする」等の具体的な行動が必要となってきます。それを実行する際にも、セルフモニタリングは効果的です。

学生相談室では、学生みなさんに「セルフモニタリング」の機会を持ってもらうべく、アンケート実施後の2021年度後期には、生活リズムの維持や改善を目的とした「セルフモニタリングプログラム」を実施致しました。今年も学生みなさんの心の健康に役立ちそうな機会の提供を考えてまいります。もちろん、個人相談の中でも「メンタルヘルスの維持、悪化予防のための対処法」等を共に考えることは可能です。「しんどくなってから行く場所」と思われがちなのですが、「しんどくなる前に行ってみよう」でも構いません。それも早目の対処の一つです。ご利用お待ちしております。

(臨床心理士 上野みな子)

## ■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。

相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生だけでなく、学生の保証人や教職員の方からの相談も可能です。

## ● 相談申込み・問合せ先 学生相談室 育心館 4階

相談を希望される方は電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、COVID-19感染拡大防止の観点から、対面相談のほか、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

◇開室（受付）時間：月～金 8：45～17：15 ◇電話：075-595-4672（建部）／075-595-4986（上野）

◇メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

■2022年度生涯研修プログラム 概要

かかりつけ薬剤師・薬局の推進、対物から対人への業務シフト、調剤後の継続的な服薬状況の把握・指導の義務化、認定薬局制度の施行など、薬剤師の業務は大きく変化しています。それに伴い、薬剤師資質に臨床実践能力や専門性向上を求める厚労省検討結果が公表されました。

2022年度プログラムは、これからの薬剤師に必須である能力の獲得を目標に置いています。

本学学生・教職員の聴講は無料ですので、ふるってご参加ください（参加方法は表下部をご参照ください）。

【生涯研修プログラム】				(2021/11現在)				
プログラム名 (定員)	開催日時	テーマ/担当講師		単位 (G24)	受講料 (円)	申込 受付期間		
フィジカル アセスメント 講座	4/10(日) 10:00~16:00 (100名 予定)	フィジカルアセスメントを活用して多職種連携を進めよう 1. 総論「医師・看護師・薬剤師のフィジカルアセスメントの目的を知ろう」 2. 疾病の基礎「患者が示すバイタルサインと症状から処方提案してみよう」 JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 JCHO 京都鞍馬口医療センター 看護師 門田 典子 先生 医療法人橘会東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 薬剤師 救急救命士 今西 孝至 先生		3	5,000	2022年 2/9(水)~ 3/28(月)		
		4/17(日) 10:00~16:30	薬剤師だから気づくフィジカルアセスメント推論力 1. (講義・実習)バイタルサイン情報収集スキル習得 2. ランチョンミーティング 3. (講義・SGD)症例検討・発表 4. (実例紹介)私が行っているフィジカルアセスメント JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 JCHO 京都鞍馬口医療センター 看護師 門田 典子 先生 みやこ薬局大前店 薬局長/在宅療養支援室長 管理薬剤師 西村 豊 先生 医療法人橘会東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 薬剤師 救急救命士 今西 孝至 先生		3.5	10,000	2022年 2/9(水)~ 4/4(月)	
	5/29(日) 10:00~16:30			3.5	10,000	2022年 2/9(水)~ 5/16(月)		
「患者 のための薬 学」の 実践 講座	第1回 5/22(日)	10:00~11:30	痒み、どうして起こる?~ 臨床と基礎の 立場から~	皮膚の痒みの臨床 京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学教室 教授 加藤 則人 先生	3	3日間 12,000	2022年 3/1(火)~ 5/9(月)	
		12:30~14:00	かゆみの発生メカニズム 京都薬科大学薬理学分野 准教授 藤井 正徳 先生					
		14:15~15:45	認知症患者の診療と地域生活の支援 京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 教授 成本 迅 先生					
	第2回 6/12(日)	10:00~11:30	ダウン症候群 はどんな病 気? 新型出生 前診断?~臨 床と基礎から 解剖する~	出生前検査とダウン症 国立成育医療研究センター副院長/ 周産期・母性診療センター長 左合 治彦 先生	3			
		12:30~14:00	ダウン症治療法確立を目指したモデルマウスを用いた基礎研究 京都薬科大学病態生化学分野 准教授 石原 慶一 先生					
		14:15~15:45	地域連携における薬剤師の役割 県立広島病院 薬剤科 笠原 庸子 先生					
	第3回 7/10(日)	10:00~11:30	亜鉛欠乏と腸疾患	京都府立医科大学大学院医学研究科免疫栄養学講座 教授 内藤 裕二 先生	3			
		12:30~14:00	腸疾患と亜鉛欠乏	亜鉛の働きと亜鉛欠乏による諸相 京都薬科大学代謝分析学分野 教授 安井 裕之 先生				
		14:15~15:45	知っておきたい! 高齢者の口腔と「食べる力」の変化~薬剤師としてのアプローチ~ 公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長 長谷 剛志 先生					
漢方講座 (100名予定)	9/11(日)、10/16(日)、 11/13(日)、12/18(日) 予定 全4回	<詳細未定> 対象: 漢方治療に関心のある薬剤師 10:00~11:40 【基礎】入門的内容 12:30~14:10 【薬物】薬剤師に役立つ内容 14:20~16:00 【臨床】医師からの臨床症例		3/日 全12	4日間 20,000	2022年 7/13(水)~ 8/29(月)		
実務支援 セミナー (20名)	2023年2/26(日) 10:00~16:00	注射薬の無菌混合調製~がん外来化学療法と在宅医療~ 1. (導入講義)注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識、がん外来化学療法の実際 2. (実技実習)衛生的な手洗い、手指消毒、帽子・マスク・手袋・ガウンの装着、 注射薬混合調製(アンプル、バイアルの取扱、薬液採取、陰圧操作)、 高カロリー輸液混合調製、配合変化の実態 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 がん指導薬剤師 中村 暢彦 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 がん専門薬剤師 冢瀬 諒 先生		3.5	10,000	2022年 12/7(水)~ 2023年 2/13(月)		
eラーニング講座	2022年6月~2023年2月 配信予定	2022年度卒業教育講座、2022年度漢方講座の収録動画を順次配信します。 2021年度eラーニング講座のコンテンツも再配信します。 (ご注意) 過去にeラーニング講座または対面講義の講座を受講し、既に単位取得済みの コンテンツは、認定単位の配付はありません(視聴のみ)。		新規 25 (予定)	15,000	2022年 4/1(金)~ 2023年 2/23(木)		

【重要】COVID-19の状況により、開催日、会場、定員、実施方法等に変更が生じる可能性があります。  
最新情報、詳細は必ずホームページ (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>) をご確認ください。

【参加方法】本学学生・教職員の無料聴講について

- 1) 卒業教育講座、フィジカルアセスメント講座(入門コース)、漢方講座、eラーニング講座: manabaコースニュースにて案内します。  
初回、生涯教育センターHPで会員登録が必要です。
- 2) フィジカルアセスメント講座(実践コース)、実務支援セミナー: 申込受付期間終了後、定員に空きがある場合のみ参加可能です。  
メールで実務・生涯教育課にお問合せください。

## ■2022年度生涯研修プログラム申込受付のお知らせ

2022年2月9日(水)より「フィジカルアセスメント講座〈入門コース〉」と「フィジカルアセスメント講座〈実践コース〉」、2022年3月1日(火)より「卒後教育講座」の申込受付を開始します。

◇フィジカルアセスメント講座〈入門コース〉 ※本学学生・教職員無料

「多職種連携の共通言語はフィジカルアセスメント！～患者状態や家族背景を共有しよう～」

\*開催日程：2022年4月10日(日) 10:00～16:00

\*開催場所：京都薬科大学躬行館3階 T31講義室

\*定員：100名 \*受講料：5,000円 \*認定単位：G24 3単位

\*申込受付期間：2022年2月9日(水)～3月28日(月)

◇フィジカルアセスメント講座〈実践コース〉 ※薬剤師限定

※申込受付期間終了後、定員に空きがあれば学内(本学大学院生、教職員)からの参加を受付けます。

「磨こう！薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力」

\*開催日程：2022年4月17日(日)、5月29日(日) 10:00～16:30 ※いずれかの日程を選択

\*開催場所：京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター2階

\*定員：各20名 \*受講料：10,000円 \*認定単位：G24 3.5単位

\*申込受付期間：4/17開催：2022年2月9日(水)～4月4日(月)

5/29開催：2022年2月9日(水)～5月16日(月)

◇卒後教育講座 ※本学学生・教職員無料

「モノからヒトへの挑戦～患者のための薬学的介入の実践～」

\*日程：2022年5月22日(日)、6月12日(日)、7月10日(日) 10:00～16:00

\*場所：京都薬科大学躬行館3階 T31講義室

\*定員：300名(予定) \*受講料：12,000円 \*認定単位：G24 計9単位(1単位/演題)

\*申込受付期間：2022年3月1日(火)～5月9日(月)

## ■申込方法

生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>



2022フィジカル入門  
申込ページ



2022フィジカル実践  
1回目(4/17)申込ページ



2022フィジカル実践  
2回目(5/29)申込ページ



2022卒後教育講座  
申込ページ

■お問合せ先：京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課

E-mail: [s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp](mailto:s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp)

TEL: 075-595-4677 (平日 10:00～16:00)

FAX: 075-595-4792

2022年度申込受付中

京都薬科大学 履修証明プログラム  
**Lehmannプログラム**  
(専門・認定薬剤師資格 取得支援)

社会人向けリカレント教育プログラム(1年コース)です。

★専門・認定薬剤師資格取得サポート

★将来の薬学領域におけるリーダー育成

★少人数担当制(2,3名に1名の指導教員)によるきめ細かな指導

詳細は、京都薬科大学ホームページをご覧ください。



(京都薬科大学ホームページ  
Lehmannプログラム)

■ 松田久司名誉教授が和漢医薬学会賞、生薬学会賞を受賞しました

松田久司名誉教授が「第38回和漢医薬学会学術大会」において和漢医薬学会賞、「日本生薬学会第67回年会」において生薬学会賞を受賞しました。

【第38回和漢医薬学会学術大会】

和漢医薬学会賞

受賞者：名誉教授 松田 久司

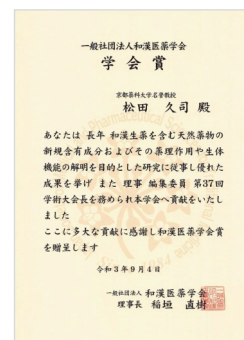
演 題：天然薬物の生体機能性成分の解明を目指して

【日本生薬学会第67回年会】

生薬学会賞

受賞者：名誉教授 松田 久司

演 題：日本産薬用植物における生体機能性成分の解明研究



■ 生薬学分野の米田太一さんが第2回和漢医薬学会若手研究者フォーラムにおいて奨励賞を受賞しました

2021年9月3日（金）にオンラインで開催された第2回和漢医薬学会若手研究者フォーラムにおいて、生薬学分野の米田太一さんが奨励賞を受賞しました。

受 賞：生薬学分野 博士課程4年次生 米田 太一

演 題：ニンニク由来不安定化合物 thioacrolein を利用したチオピランの合成およびその活性評価

演 者：○米田太一、中村誠宏、松本崇宏、今堀大輔、小島直人、渡辺徹志

■ 臨床腫瘍学分野の安藤翔太さんが第80回日本癌学会学術総会においてJCA若手研究者ポスター賞を受賞しました

2021年10月1日（金）に開催された第80回日本癌学会学術総会において、臨床腫瘍学分野の安藤翔太さんがJCA若手研究者ポスター賞を受賞しました。

受 賞：臨床腫瘍学分野 博士課程3年次生 安藤 翔太

演 題：アセトゲニン誘導体JCI-20679はAMPKの活性化とNFAT1の減少を介して膠芽腫幹細胞の増殖を抑制する

演 者：○安藤翔太、小島直人、茂山千愛美、藤田 貢、飯居宏美、中田 晋

■ 本学の学生5名が「第71回日本薬学会関西支部総会・大会」において優秀ポスター賞を受賞しました

2021年10月9日（土）にオンラインで開催された「第71回日本薬学会関西支部総会・大会」において、本学の学生5名が優秀ポスター賞を受賞しました。

【優秀ポスター賞】

受 賞：薬品製造学分野 4年次生 小柴 佐和子

演 題：シクロペンタン環により配座を固定したアセトゲニンチオフェン誘導体の合成と活性評価

演 者：○小柴佐和子、細見紘幸、松本卓也、上田 拓、小菅真央、飯居宏美、中田 晋、岩崎宏樹、山下正行、小島直人

受 賞：薬品分析学分野 6年次生 川中 彩永

演 題：メラミン検出のためのポリジアセチレンリポソーム型イクオリン生物発光デバイスの開発に関する基礎的検討

演 者：○川中彩永、小川泰毅、小西敦子、武上茂彦

受 賞：病態生化学分野 5年次生 大槻 理津子

演 題：IVA 型ホスホリパーゼ A2 を介した粥状動脈硬化巣の形成における責任細胞種の同定

演 者：○大槻理津子、河下映里、石原慶一、貫上真佑、金井志帆、秋葉 聡

受 賞：公衆衛生学分野 4年次生 山崎 遥奈

演 題：フキ (*Petasites japonicus*) 地上部より得られた成分のがん幹細胞毒性活性

演 者：○山崎遥奈、松本崇宏、今堀大輔、土居由季、岡山真也、渡辺徹志

受 賞：公衆衛生学分野 5年次生 西田 圭佑

演 題：佐世保市大気中の PM2.5 による炎症性サイトカイン IL-33 の発現

演 者：○西田圭佑<sup>1</sup>、岡橋和佳奈<sup>1</sup>、山岸伸行<sup>2</sup>、出口雄也<sup>3</sup>、長岡寛明<sup>3</sup>、松本崇宏<sup>1</sup>、渡辺徹志<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>摂南大薬、<sup>3</sup>長崎国際大薬)

■臨床薬学分野の辻本雅之講師の共同研究が日本腎臓病薬物療法学会において「2021年日本腎臓病薬物療法学会 優秀論文賞」を受賞しました

2021年11月7日（日）にオンラインで開催された日本腎臓病薬物療法学会において、臨床薬学分野の辻本講師と社会医療法人寿楽会大野記念病院および医療法人宝生会PL病院との共同研究が「2021年 日本腎臓病薬物療法学会優秀論文賞」を受賞しました。

受賞：臨床薬学分野 講師 辻本 雅之

論文題目：ニューモシスチス肺炎予防のST合剤による血清クレアチニン値およびカリウム値の変動に腎機能が及ぼす影響

著者：森住 誠、本間 暢、石原美加、松田光弘、浦田元樹、辻本雅之

■(株)Preferred Networksとの共同研究成果が掲載されました

(株)Preferred Networksとの共同研究成果が日刊工業新聞（2021年9月7日）、薬事日報（2021年9月10日）、朝日新聞（2021年10月18日）に掲載されました。

### コロナ治療薬 AI探索

PFN・京都薬大  
ウィルス増殖酵素阻害



PFNが持つAI創薬技術を活用して、新型コロナウイルスの増殖に関わるメカニズムを阻害する化合物を探索。仮説検証型で化合物の分子設計、Nのフラットフォームと融合させた。

PFNが持つAI創薬技術を活用して、新型コロナウイルスの増殖に関わるメカニズムを阻害する化合物を探索。仮説検証型で化合物の分子設計、Nのフラットフォームと融合させた。

### 薬事日報 2021(令和3)年9月10日

#### コロナ薬候補を発見 AI創薬で探索に成功

京都薬大 赤路健一教授らの研究グループは、PFNが持つAI創薬技術を活用して、新型コロナウイルスの増殖に関わるメカニズムを阻害する化合物を探索。仮説検証型で化合物の分子設計、Nのフラットフォームと融合させた。

### ラボ

#### コロナ薬開発 AIが相棒

京都薬大 赤路健一教授らの研究グループは、PFNが持つAI創薬技術を活用して、新型コロナウイルスの増殖に関わるメカニズムを阻害する化合物を探索。仮説検証型で化合物の分子設計、Nのフラットフォームと融合させた。

掲載記事については本学ホームページよりご覧いただけます。  
<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph/>



下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

\* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。

\* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

\* 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

## 2021年9月～2021年11月にご寄附をお寄せいただいた方々

### < 卒業生・同期会等（五十音順） >

太田 俊作	袖岡 茂徳
川崎 真子	中森 省吾
楠山 龍	山岸 伸行
進藤 広彦	山岸亜紀子

### < 法人役員・評議員・職員等（五十音順） >

赤路 健一	北澤 京子
-------	-------

京都薬科大学 生薬学分野

(2021年11月30日現在)



KPU NEWS No. 208 2022年1月発行／編集：KPU NEWS編集委員会  
発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691 (企画・広報課)

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。